

## ANEWAL Gallery アニエアルギャラリー

ANEWAL Gallery は、「外に出るギャラリー」をコンセプトにアーティストやデザイナー・クリエイターらと共に地域に眠る資源の発掘や新たな価値の創出を行い、それらの情報発信等の広報活動や様々なプロデュースを通じて社会や地域の問題・解決に取り組む、地域の振興・発展に寄与します。

そして芸術やデザインによる社会貢献の在り方を模索し続けると共に、その実践を持って公共に於ける活動を行っています。



## Artists | アーティスト

Fabien Mauduit ファビアン・モテュイ (フランス)  
Véronique Hours ヴェロニク・ウラス (カナダ)

パリを拠点とする建築家ユニット。2008年に建築・景观・アートを融合させた創作活動を目指して「A.P.A.R.T.s」を設立。

2013年に生まれるテーマにした日本での滞在制作の後、母国フランスにて展覧会「L'ARCHIPEL DE LA MAISON・日本、家の列島」を開催、欧州各地を巡回し好評を博す。また2017年には帰国展として同展覧会を分館 Panasonic ショールームにて開催。

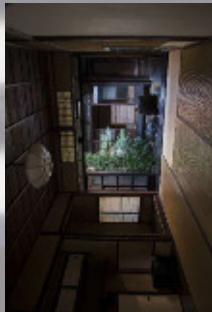


## Artist in Residence | 滞在

「AN AIR」は国内外からアーティストや研究者を公募招聘。滞在のアーティストとして ANEWAL Gallery はもちろん、地域のイベントや行事、展覧会などの海外アーティストの参加をアレンジ・サポートし、一定のプログラムに合わせたフレキシブルな「外に出るAIR」プログラムを目標とします。

アーティスト・イン・レジデンスという仕組みを活用したい地域や団体と協働し、そこにある資源を積極的に活かして地域とアーティストを様々な形で繋げます。そしてそこから生まれる影響や風景を以て地域に新たな視点とアイデアをもたらすと同時に、今の京都を国内外に伝える事を目的としています。

AN AIR vol.2  
NPO ANEWAL Gallery Residency  
Invitation Program.



## Production | 制作

調査・研究、そして協力者とのシンクタンクを重ねる中で、翌年2019年の京町家を会場とし、インスタレーション(空間作品)を軸とした展覧会を制作する事が決まりました。

内部と外部を緩やかに繋結する中間領域を持つ町家の特徴を主とする為に、町家の空間を大胆に活用したインスタレーションを計画する一方、多くの専門家に任せたインタビュ(動画)「町家の真像」を付けた。今存在する町家を捉えた映像の制作。そしてパブリックと触れた取り壊された町家の歴史を築き上げた地でのパフォーマンスの計画など、協力者と共に多くの制作が同時進行で行われました。

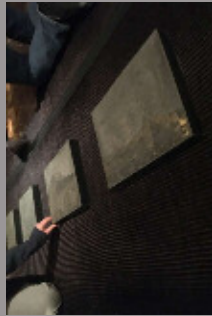


## Collaboration | 協働

本事業において、日本人の協力者の存在は不可欠でした。各分野の専門家へのインタビュはもろろの事、それらの後に計画されている展覧会においても伝統的は技術や専門家からのアドバイスなしには実現し得ませんでした。

また、建築のみならず生活文化までも視野に入れた調査には地域に於ける人々との対話もとても重要な要素でした。

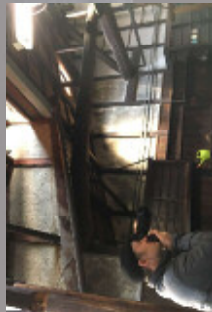
作家は滞在中、日々精力的に動く中で地域の方や専門家に会い、最終的には日本の建築家・大工・陶芸家・景观人など多くの協力者と共に、この事業に取り組みことが出来ました。



## Research | 調査・研究

2015年に開始した本プロジェクトは数度に渡る滞在を経て実現しました。異なる文化圏から来た彼らにとって、私たちの日常にふもろとも触れ難く、理解することに多くの時間と多くの情報と経験が必要になります。

建築家である彼らにとってやはり、興味深いのは京町家と書かれる京懐において一般的であった木造世帯でした。日本建築専門の建築家はもちろん、実際に建てる技術を持つ大工、その材料となる木材や土、紙、そして日本の空間における哲学に至るまで彼らは時間をかけて調査を行いました。



# 町家の教え MACHIYA NO OSHIE OSHIE NO WACHAM

by

Fabien Mauduit  
Véronique Hours  
Stéphane Créte

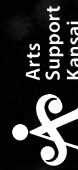
2018.10.5 fri - 10.13 sat

於

ANEWAL Gallery



PARIS PHOTO 2018  
SITE ANNIVERSAIRE  
京都ハリエール・ハ  
ス・アート・センター



INSTITUT  
FRANÇAIS

Arts  
Support  
Kansai



FOUNDATION  
FRANCO  
JAPONAISE  
SASAKAWA

秀光館 松榮堂 株式会社フラットエージェンシー



## Description | 展覧会概要

本展覧会はNPO ANEWAL Galleryが実施する招聘AIRプログラムAN AIRの成果展であり、また京都パリ友好六〇周年を記念したZett Blanche Kyoto 2018参加展である。

二〇一五年より開始した本プロジェクトは、招聘アーティストであるフランス人建築家Fabien MauduitとVeronique Hoursが風土とそこに想った文化の集積としての京町家、そしてそれを取り巻く社会的環境についての調査から始まった。その後、数度の滞在制作を経る中でフランス人アーティスト、ステファーン・クレテ、ジェレミ・ステラ、サミュエル・アンドレ、そして京都の職人が加わり本展が実現した。

本展は築一二三〇年超の京町家を大胆に使用したインスタレーションを含めた、「考察」、「肖像」、「記憶」、「知識」の四部から成る。外部空間を取り込む日本建築の特徴を生かした一見静謐とも言える展示空間だが、彼らによって可視化された外部と接続する様は我々日本人が持つ空間の「記憶」と「認識」を大いに揺るがす。

会期：二〇一八年十月五日（金）・十月十三日（土）

時間：12:00 - 19:00（土日は11:00 - 18:00 月休）

会場：ANEWAL Gallery

主催：NPO ANEWAL Gallery A.P.A.R.T.s ステファーン・クレテ

助成：笹川日仏財団 アーツサポート関西

上京区まちづくり補助事業 Institute France

協力：（公財）京都市景観まちづくりセンター

香老舗 松榮堂 株式会社フラットエージェンシー

Genius Table in Kyoto

後援：京都市

キュレーター：

A.P.A.R.T.s ヴェロニク・ウルス 建築家

ファビアン・モテュイ 建築家

ステファーン・クレテ 建築家

W.E.B. 大野藍 陶芸家 サミュエル・アンドレ 音楽家

ジェレミ・ステラ 写真家 松井重一 建築家

山下麻子 建築家 横山充一 職人

